

大学生が考える弥栄ツアー

弥栄の自然を親しむとともに、ふるさと体験村でしかできない体験を皆様にお届けします。

1日目 ～自然を学ぼう～

弥栄の花でしおり作り

島根県の花である「ぼたん」であったり、浜田市の花である「つつじ」等をできれば使用し、体験をしたという思い出の証を作る。

そば打ち体験

ふるさと体験村にそば打ちが存在するので、自分達の手で昼食を作り、地元である弥栄を舌で味わい感じる。

間伐体験

普段の生活では見ることも体験することもできない間伐を自らの手で行うとともに、人の手で森林を管理する大切さを学ぶ。

2日目 ～弥栄を学ぼう～

農作業体験(種まき、収穫)

収穫のみならず、種まき等の農作業にも積極的に参加することで、農作業をより身近に感じられるようにする。

郷土料理バイキング

郷土料理の伝統(食べ物の置き場所、食べ物の種類など)を残しつつ、自分達が食べられる量だけ取りに行く形式。ここでは自分達が好きな食べ物だけを取りに行くわけではない。前回郷土料理を食べる量が多かったので、あくまで自分が食べられる量だけを取るという目的である。

間伐した木で、コースターorはし作り

前回では、はし作りを体験できなかったので今回は、ツアー内に元から入っている形にしました。

3日目 ～稲作を学ぼう～

稲刈り脱穀体験

稲刈りを手刈りで行うのみに限らず、脱穀も自分達で行うことで稲の収穫することの大変さを学び、米をより身近に感じられるようにする。

収穫したコメと野菜でピザ作り

ただ単に収穫して終わりというのももったいないので、収穫した作物で料理をし、疲労がたまった身体をねぎらうとともに弥栄の作物に親しむ。

まとめのワークショップ

3日間を通して感じたこと考えたことだけにとどめず、ツアーを通しての改善点や良い点を積極的に上げていき、次のツアーへとつなげる。ここでまとめたものは今回と同じように、ネット上にもアップロードする。

